



学校便り

高甫っ子

平成30年6月27日

NO 7

須坂市立高甫小学校

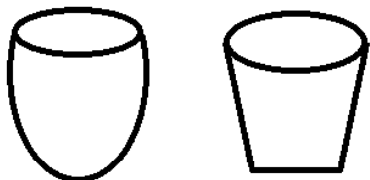
文責 黒岩

須坂市のお宝1

校長講話より

このブラックボックスには、お宝が入っています。なんだと思いますか？自己紹介します。私の名前は、「縄文土器」と言います。土でできています。今から14,000年前に生まれました。

この土器をよく見てください。何か気づいたことはありますか？「模様がついている」「底が丸い？」「使い方は？」「作り方は？」…。2つの土器を比べてみよう。どこが違うかな？



古い土器の多くは、ほとんど底が丸いか尖っています。底が丸いと自分で立つことができません。ここで大事なことは、色々考えてみることで、では逆になぜ底が平らなのかを考えてみよう。底が平らだと地面に置くことができる。だからずっと物を入れっぱなしにしておける。それから平らなところならどこへでも移動できる。という

ことは、底の丸い土器は、移動しないで使うんだということが考えられるね。地面に穴をほるか、石を組んで倒れないようにして使っていたと考えられています。つまり、土器は煮炊き用の道具としてのみ使っていたらしいのです。

縄文時代には、まだ文字がありません。当時のことをまとめた本もありません。だから発見されたものから昔の人々の暮らしを想像するしかありません。現在の研究の成果がこれです。地面の下から発見される宝物から昔の人々の暮らしを復元する学問を「考古学」と言います。一つの土器からいろいろなことがわかりますね。考古学には正解がありません。だって、その当時のことを誰も見たことがないからです。もしかしら、底の丸い土器は実は頭にかぶるヘルメットだったかもしれません。まだ、地面の下にはたくさんのお宝が眠っています。新しい発見により、教科書に書かれている内容がひっくり返るかもしれません。教科書に載っているものはすべて答えがあります。でも世の中には答えのないものもたくさんあります。これから社会に出て、教科書に載っていないことにたくさん出会います。そんなとき皆さんはどうしますか？学校で教えてもらってないからできません。と言ってあきらめますか？ぜひ、皆さんには途中であきらめないで、創造力を働かして答えを見つけてほしいと思います。

さて、話を先ほどの縄文土器に戻します。この土器のすごいところは、他にもあります。この土器が発見されたのは昭和38年です。当時、世界でもっとも古い土器として日本中の注目を集めました。また、土器のふちに「微隆起線文」という文様がついています。この文様は縄文土器の文様の中でも最も古い文様のひとつです。縄文人もおしゃれですね。そして土器の発明により人々は、肉や魚、木の実や植物を煮たり焼いたりして食べるようになりました。土器の発明で人々の生活スタイルが大きく変わります。最後にこの土器の驚くべき事実を発表します。この土器は、須坂生まれだということです。このちょっと山の方に行った石小屋洞穴遺跡から発見された物です。つまり、われわれのご先祖様は14,000年前に洞穴に住んで、最先端技術の土器をつくっておいしい焼き肉を食べていたということになります。すごいですね。



石小屋洞穴遺跡
出土土器



6月22日(金)にプール開きを行いました。待ちに待った水泳が始まります。今年の目標は何mかな。梅雨明け宣言が待ち遠しいところですが、日中の気温も少しずつ高くなってきました。たくさん泳いで丈夫な体をつくろう。



授業参観日

6月15日(土)は授業参観日でした。子どもたちは朝からどことなくウキウキで、いつもよりハッスルしていたように感じました。やはりお家の方に授業の様子を見ていただけることは、子どもたちにとってうれしいことなんですね。あわせて、2・4・6年では歯科指導を実施しました。染め出しをして日頃の歯磨き習慣を振り返る機会となりました。3年生は親子クッキングを実施しました。食材を提供していただいたご家庭には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。ほかに5年生は峰の原自然体験学習の練習もかねて、飯ごう炊さんとカレー作りに挑戦しました。お家の方にも一緒に食べていただきました。意外においしくできたようです。今から本番が楽しみです。4年生は親子で「松代焼き」に挑戦しました。焼き上がりが楽しみです。2年生は、体育館で親子でドッチビーを行いました。1年生は、はさみを使って紙切りに挑戦しました。



1年 図画工作



2年 ドッチビー



3年 親子クッキング



4年 松代焼きづくり



5年 飯ごう炊さん



6年 歯科指導

午後は、PTA球技大会でいい汗をかきました。優勝は、1年敬組でした。おめでとうございます。その後、暑気払いを兼ねた懇親会をJA高甫の2階で行いました。ご準備いただいた役員の皆様には感謝申し上げます。

7月8日(日)の須高陸上大会に向けて陸上練習が始まりました。



=重要= 登下校時の安全確保について

6月21日(木)に、不審者対応講習会並びに引き渡し訓練を実施しました。当日は須坂警察署生活安全課より松下さんと高甫駐在所の宮崎さんにお越しいただき、不審者に遭遇したらどうすればいいかお話を聞きました。とにかく大声を出して、逃げるのが肝心だというお話でした。また、子どもたちには、合い言葉の「**いかにおすし**」をしっかりと覚えるように指導しました。防犯ブザーも効果的です。防犯ブザーの点検を各家庭でもお願いします。引き渡し訓練ではお家の方のご協力をいただきました。感謝申し上げます。静岡県で、下校途中に小4男児が頭を殴られるという事件が起こりました。

大阪府北部の地震で通学中の女児児童が、ブロック塀の倒壊に巻き込まれて死亡した事故は、保護者の皆さん並びに学校関係者に大きな衝撃を与えました。新聞記事によると、須坂市では、2012~13年にかけて通学路の調査を行い、通学路のブロック塀の4割が「倒壊の危険あり」と判断されているそうです。本校でも通学路を回ってみると、住宅が密集している場所では、子どもの背丈より高い塀がたくさん見られました。また、道路の脇には蓋のない堰とせり出した屋根。もし屋根瓦が一斉に落ちてきたらどうなるだろうと心配になってきます。

18日午前8時50分頃、須坂市内でトラックが直売所付近に突っ込んだという事故がありました。

このように、通学路には危険が一杯潜んでいます。登下校時の安全確保について、各家庭においても、話題にさせていただきたいと思います。心配なことがあれば、学校までご連絡いただきたいと思います。